

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

<先週の説教から>

『ルカ 70 — 娘よ、安心して行きなさい』

武田真治牧師

ゼカリア書 8:20~23 ルカ福音書 8:40~48

今日の箇所は、イエス様がゲラサ人(=異邦の民)の地へと足を延ばされた後に、ユダヤ人の土地に戻って来られた時の出来事です。当然、「群衆は喜んで迎えた」のでした。その中に「会長のヤイロ」という人物がいました。一人娘が病気になっており、しかも「死にかけていた」のでした。一刻の猶予も出来ないということでしょう。おそらく必死になってイエス様にお願いし、それに答えてイエス様が「ヤイロの家に向かわれた」のでした。ただ、何も知らない群衆は「イエス様の側に群がったのでした」。その群衆に紛れて、イエス様に「近寄って来て、後ろから(そっと)イエス様の衣の房(=裾)に触れた」女性がいたのでした。この方は「十二年このかた出血が止まらず、医者に全財産を使い果たしたが、だれからも治してもらえない」人でした。彼女もまた冀をも掴む思いで、イエス様の力にすがったのでしょう。すると「直ちに出血が止まった」という奇跡が起こったのでした。どんなにこの人は喜びにあふれたことだったのでしょうか。

しかし、この女性の行為は、当時いくつかの点で問題とされる所がありました。この女性の病はおそらく生理不順の類いだったと思われますが、当時のユダヤ教の律法では、血そのものが忌み嫌われており、血にさわるとは“汚れる”ことと見做されていました。更に、出血している人が使った物に触ることさえ“汚れが移る”行為と見做されたのでした。故に、出血のあるこの女性が公の場所に出て来ること自体、戒められる行為でした。「隠れて、うしろから」はそのような事情があったからです。しかも更に問題なのは“イエス様に触る”“という行為です。彼女が誰かに触れる行為は、その人を“汚す”ことになり得るからです。しかも許しもなくイエス様によって病気を癒してもらったことは、実は“盗み”の罪にも問われるのです。

故に、彼女の行為は発覚すれば、①汚れた存在なのに人前に出てきた、②聖なる方であるイエス様を汚した、③イエス

様の力を盗んだ等、いくつもの律法違反に問われるものでした。この後でイエス様が「だれかがわたしに触れた。力が出て行ったのを感じた」と言って探されたのは、勿論、悪いことにご自分の力が使われたのではないかと確認する思いもおありでしょうが、隠れて“イエス様の力”を盗む行為を責めておられるのでしょう。そのイエス様の言葉に促され「震えながら進み出て、ひれ伏し、触れた理由とたちまち癒された次第とを皆の前で話した」のです。どんなにか勇気の要ることだったでしょう。自分が罰せられることを覚悟した上で“告白”でした。その姿を見てイエス様は『娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。』と赦しと励ましの言葉を掛けられたのでした。同時にこの言葉はこの女性の行動を責めようとしそうな群衆や祭司たちに対して、女性を守る言葉でもあります。“私が認めたのだから、良しとすべきだ”という！イエス様の愛を感じます！

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 3月18日(水) 20:00
II. 3月19日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記
祈祷主題: 埼玉地区総会を覚えて
担当者: (水) MY (木) KA
祈りに覚える人 KHさん KKさん

*ハンナの会 3月17日(火) 10:30~

【教勢報告】

主日礼拝 男18 女48 計66
祈祷会 I. 男3 女1 計4 II. 男1 女6 計7
日曜学校 幼稚科7 小中科10 計17

【次週礼拝】

3月 22日(日)
聖書: 列王記上 17:22~18:2
ルカによる福音書 9:1~6

説教: 「ルカ72—12人の派遣」武田真治牧師
讃美歌: 298(1)、32、聖歌隊(299)、409、505、
29(1)

【次週当番表】

司式: AS長老 奏楽: KH 礼拝: HS長老
献金: OY OI 受付: KH ST
会堂準備: OK KH KA TN
NE

看板: NY 週報: IT お花: IY

【次週集会予定】

礼拝前: ・日曜学校 ・聖書輪読会 ・求道者会
礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習
・牧会/伝道/礼拝/社会教育 各委員会

2026年 3月 15日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549